# 第8章

# 地域別のまちづくり構想

- 8-1 地域区分の設定
- 8-2 東部地域のまちづくり構想
- 8-3 英比地域のまちづくり構想
- 8-4 草木地域のまちづくり構想
- 8-5 南部地域のまちづくり構想

# 第8章 地域別のまちづくり構想

# 8-1 地域区分の設定

地域別構想の地域区分は、小学校区による4つの地域を設定します。

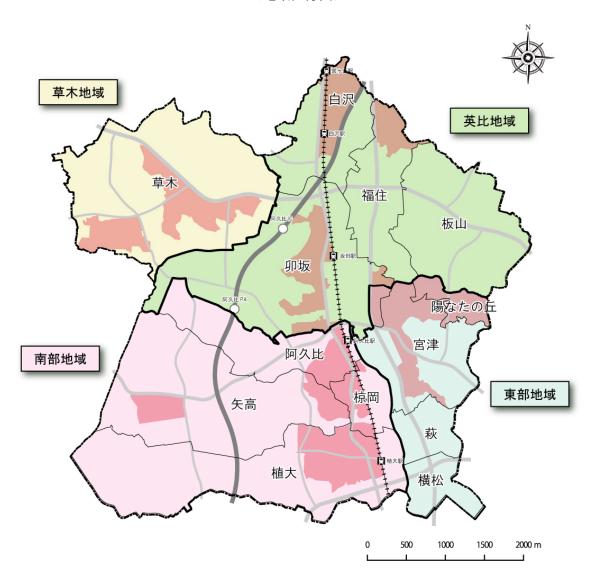
○東部地域:町の南東部に位置する大字横松、萩、宮津、陽なたの丘及び卯坂の一部

○英比地域:町の北東部に位置する大字板山、福住、白沢及び卯坂の一部

○草木地域:町の北西部に位置する大字草木

○南部地域:町の南部に位置する大字阿久比、椋岡、矢高及び植大

# <地域区分図>



# 8-2 東部地域のまちづくり構想

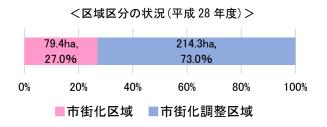
#### (1)東部地域の現況・特性

#### ①地域の概況

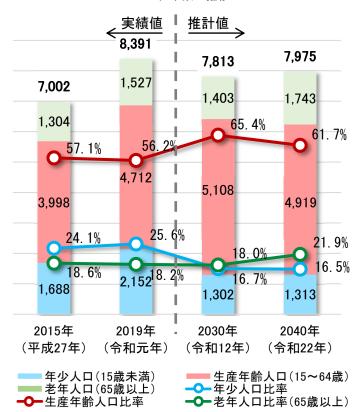
- ・本地域は、南東部に位置し、半田市に隣接しています。
- 地域の面積は約294haで、そのうち市 街化区域が27.0%(79.4ha)を占め ています。
- 本地域の西側には、阿久比川と英比川が 南北に流れています。

# ②人口動向

- 本地域の平成27年(2015年)の人口は7,002人となっており、町全体の約25%に該当します。
- 令和 22 年(2040年)までの人口推 移を見ると、今後も人口が増加し続ける と見込まれます。
- ・平成27年(2015年)の年少人口比率は24.1%、生産年齢人口比率は57.1%、高齢化率は18.6%となっており、年齢構成が町内で最も若くなっています。
  - ※平成27年、令和元年は実績値を採用※令和12年、22年は、平成27年度の国勢調査を基にした推計値を採用(国立社会保障・人口問題研究所)



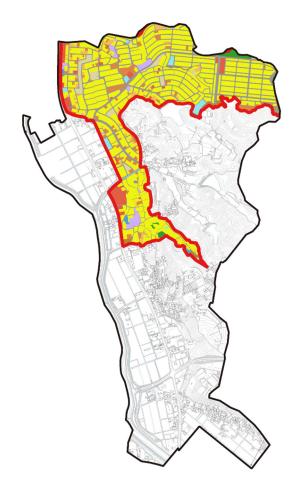
<人口・世帯数の推移>



#### ③土地利用の状況

- ・地域北部の市街化区域内では、卯坂・宮津特定・宮津板山土地区画整理事業が実施され、良好 な住宅地が広がっています。
- ・地域内には昭和期に建設された宮津団地や宮津山田地区が立地しており、住宅団地の老朽化や 居住者の高齢化がみられます。
- 市街化区域内の土地利用の内訳は、住宅用地が約57%と大部分を占める一方、農地や山林などの自然的土地利用は約7%と他地域と比較し、最も少ない状況です。
- ・宮津地区では、都市計画道路の整備状況により産業系市街地の開発を検討しています。

#### <市街化区域内の土地利用現況(平成 30 年度)>



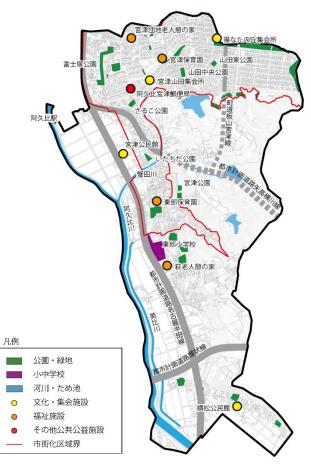
区分			凡例	市街化区域	
				面積	割合
自然的土地利用	農地	田		0.00 ha	0.0%
		畑		1.70 ha	2.1%
	山林			1.87 ha	2.4%
	水面			1.26 ha	1.6%
	その他の自然地			1.05 ha	1.3%
都市的土地利用	住宅用地			45.51 ha	57.4%
	商業用地			1.98 ha	2.5%
	工業用地			0.29 ha	0.4%
	公的·公益用地			1.48 ha	1.9%
	道路用地· 交通施設用地			17.94 ha	22.6%
	公共空地等			6.27 ha	7.9%
総計				79.35 ha	100.0%

※「公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、その他の 空地、低未利用地が含まれる

# ④都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況

- 本地域では、都市計画道路が3路線(名古屋半田線、環状線、矢高横川線)計画されており、名古屋半田線、矢高横川線の一部が未整備となっています。
- 都市公園は6ヵ所(街区公園) 1.62ha が 整備されており、一人あたりの都市公園面 積としては 1.9 ㎡/人で、町平均(2.3 ㎡ /人)より少ない状況となっています。
- ・本地域には、東部小学校、宮津公民館のほか、集会所、保育園、老人憩の家、郵便局などの公共公益施設が立地しています。

<都市施設・都市機能の状況図>



#### 5自然環境・地域資源

- 阿久比川及び英比川沿いで良好な田園風景が広がっているほか、丘陵地では森林やため池が分布し、動植物の良好な生息地を形成しています。
- ・地域の歴史的資源として、知多半島では唯一の前方後円墳である二子塚古墳(町指定文化財) があります。また、町指定有形民俗文化財である山車が宮津地区、萩地区、横松地区にあり、 毎年、各地区の神社で春祭りが行われ、山車の曳き回しなどが行われています。

#### 6防災

- ・地区東部の丘陵地に、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区が指定されているほか、「洪水ハザードマップ」において、阿久比川・十ヶ川流域周辺が浸水想定区域に、「ため池ハザードマップ」において、屋郷池、大池脇池、山田池の下流域が被害想定区域に指定されています。
- ・地域防災計画において、東部小学校、宮津公民館、宮津保育園、陽なたの丘集会所が避難所に 指定されているほか、いたちだ公園など街区公園が避難場所に指定されています。

# (2)東部地域の課題

#### 【人口動向】

●他地区に比べ、生産年齢人口及び年少人口の占める割合が高いことから、今後も将来にわたり、子育て世代をはじめとする若い世代が暮らしやすい、暮らし続けることができる環境づくりが求められます。

#### 【土地利用動向】

- ●既存住宅地の良好な住環境の維持・保全や、住宅団地の老朽化対策や高齢居住者が安全安心に暮らすことができる環境整備が求められます。
- ●宮津地区において、都市計画道路の整備状況により産業系市街地の開発促進が求められます。

#### 【都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況】

●都市計画道路の未整備区間の早期整備や地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公 共公益施設の適正な維持管理が求められます。

#### 【自然環境·地域資源】

●阿久比川や英比川の河川景観を活かしたまちづくりや山車などの地域の特色ある歴史・文化 の保全・継承が求められます。

#### 【防災】

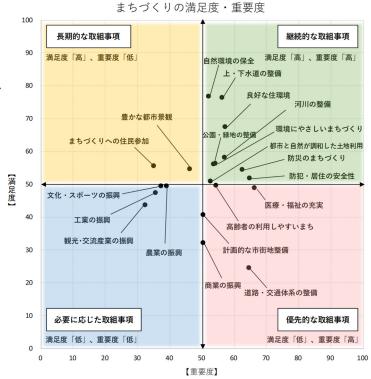
- ●河川やため池、丘陵地などの周辺において、自然災害による被害を軽減するための防災対策 の推進が求められます。
- ●避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持管理が求められます。

#### (3)東部地域の住民意向

東部地域のまちづくりに関する住民意向は以下のとおりです。

#### ①まちづくりの満足度・重要度

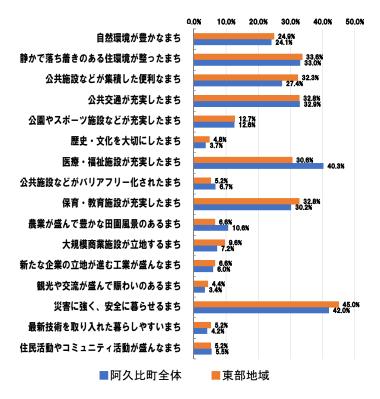
・東部地域の住民のまちづくりに対する満足度・重要度をみると、特に「道路・交通体系の整備」について、満足度が低いものの重要度が高いことから、道路・交通環境の充実したまちづくりが求められていると考えられます。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

#### ②まちの将来像

- ・東部地域の住民が望むまちの将来 像は、「災害に強く、安全に暮らせるまち」が高い割合となっており、 河川の浸水対策、丘陵地の急傾斜 地崩壊対策などの取り組みが求め られています。
- ・また、町全体と比較すると、「公共施設などが集積した便利なまち」 や「保育・教育施設が充実したまち」 を望む声が高く、公共公益施設の 立地や集積が求められています。



#### (4)東部地域のまちづくり方針

東部地域のまちの現況・課題及び住民意向を踏まえ、まちづくり方針を整理しました。

#### ≪東部地域のまちづくりの基本方針≫

#### ■ 子育て世代や高齢者が安心して暮らせる地域づくり

○宮津地区や陽なたの丘地区の既存の住宅地や住宅団地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるとともに、地域の子育て世代や高齢者などが安心して暮らし続けることができる居住環境の形成を目指します。

#### ■ 交通環境整備と連動し、新たな産業を創出する地域づくり

〇都市計画道路矢高横川線などの早期整備を促進するとともに、新たな工業用地の整備を目指 します。

# ■ 災害に強く、安全な地域づくり

〇阿久比川・英比川や丘陵地の急斜面に近接する集落地の防災性の向上を図り、安全な地域環境の形成を目指します。

# ≪東部地域のまちづくりの整備方針≫

#### 1)土地利用・市街地整備に関する方針

#### 1住居系土地利用

- ・宮津団地や宮津山田地区、陽なたの丘地区では、低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持・ 保全を図ります。
- ・宮津地区、萩地区及び横松地区の既存集落地では、背後に位置する自然豊かな丘陵地と調和した良好な居住環境の保全を図ります。
- 小廻間地区及び五反田上地区における暫定用途地域については、居住環境の向上を図るため、 地域住民などの意向を調整のうえ、今後の土地利用のあり方について検討を進めます。
- ・地域住民の生活利便性を考慮した土地利用を図るため、都市計画道路名古屋半田線の沿道を中心に市街地拡大候補地を位置づけ、実現化に向けた調査・検討を行います。

# ②商業系土地利用

都市計画道路名古屋半田線沿道では、周辺の営農環境と調和しつつ、地域の生活利便性向上に 資する土地利用の誘導を検討します。

#### ③工業系土地利用

・ 宮津地区東部では、新たな産業機能の導入を目指し、都市計画道路矢高横川線沿道を中心に市 街地拡大候補地を位置づけ、都市計画道路の整備状況と合わせた工業団地整備を検討します。

#### 4農業系土地利用

・農地が広く分布する市街化調整区域では、土地改良事業などにより営農環境の整備・保全を図るとともに、無秩序な宅地化を抑制し、優良農地の保全を図ります。

#### 2)道路・交通の整備方針

- ・地域の生活交通の利便性向上を図るため、地域を南北に縦断する都市計画道路名古屋半田線と、 地域を東西に横断する都市計画道路矢高横川線及び環状線の整備を促進するとともに、都市計 画道路知多西尾線と都市計画道路矢高横川線を結ぶ町道板山宮津線の整備検討を進めます。
- ・地域の高齢者など、交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域住民のニーズ に配慮した循環バスの維持・充実を検討します。

#### 3)公園・緑地の整備方針

- ・既設の公園について、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理を 図ります。
- 横松地区や萩地区など、都市公園の整備が不足する地域において、地域住民のニーズに配慮した身近な公園・緑地の確保を検討します。

#### 4)河川・下水道の整備方針

- 阿久比川の河川敷を活かしたサイクリングロードの整備を促進します。
- 阿久比川などの河川の整備は、近年の豪雨災害を踏まえ、整備計画などに基づき必要な対策を 図ります。
- 市街化調整区域に広がる農地における農作物のたん水被害防止を未然に防ぐため、たん水防除 事業を促進します。
- ・市街化区域内の下水道施設の計画的な維持・更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

#### 5)自然環境・景観の形成方針

- 地域東部に広がる丘陵地について、環境保全機能を持った自然環境の保全に努めます。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、自然環境や地域 の居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ・ホタルの主要な生息地となっている阿久比川沿いの優良農地は、地域住民との協働のもと継続 的な保全を図ります。

#### 6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- ・阿久比川周辺の浸水想定区域において、防火対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水・ 保水機能の維持・確保に向けた総合的な対策を図ります。
- 屋郷池、大池脇池などのため池の被害想定区域において、水害の拡大防止に向けた周知を図ります。
- 宮津地区、萩地区及び横松地区の既存集落地は、急傾斜地に近接していることから、危険度に 応じて急傾斜地崩壊対策事業を促進します。
- ・木造住宅が密集する宮津地区などの既存集落地は、狭あい道路の改善や空家などの解消による オープンスペースの確保に努めるとともに、避難場所となる公園の防災機能の強化を図ります。
- 住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

#### <東部地域のまちづくり方針図>



# 8-3 英比地域のまちづくり構想

#### (1)英比地域の現況・特性

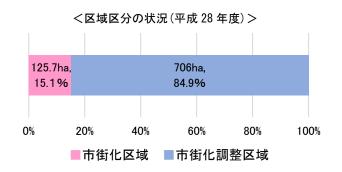
#### ①地域の概況

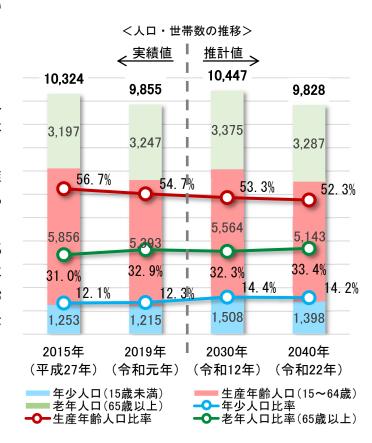
- 本地域は、北東部に位置し、半田市と東 浦町、知多市、常滑市に隣接しています。
- 地域の面積は約832haで、そのうち市 街化区域が15.1%(125.7ha)を占め ています。
- 本地域には、広域的な交通拠点として、 名鉄河和線巽ヶ丘駅ほか、知多半島道路 阿久比インターチェンジが位置してい ます。

#### ②人口動向

- ・本地域の平成27年(2015年)の人口は10,324人となっており、町全体の約37%に該当します。
- ・令和 22 年(2040年)までの人口推 移を見ると、今後も人口が減少し続ける と見込まれます。
- ・平成27年(2015年)の年少人口比率は 12.1%、生産年齢人口比率は 56.7%、高齢化率は31.0%となっており、町内で最も高齢化が進んだ地域となっています。

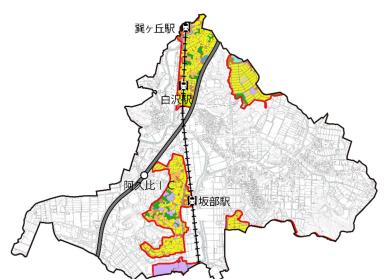
※平成27年、令和元年は実績値を採用 ※令和12年、22年は、平成27年度の国勢 調査を基にした推計値を採用(国立社会 保障・人口問題研究所)





#### ③土地利用の状況

- ・本地域では、坂部駅西・卯坂南部土地区画整理事業が実施されたほか、高根台などにおいて団 地開発が行われ、良好な住宅地が広がっています。
- ・市街化区域の土地利用の内訳は、住宅用地が約45%を占め、農地や山林などの自然的土地利用は約20%を占めています。他地域と比較し、市街化区域における自然的土地利用の割合が最も多く、白沢地区や卯坂地区の丘陵地においてまとまりがみられます。
- 地域を南北に縦断する都市計画道路知多東部線の沿道では、商業用地の集積がみられます。
- ・市街化調整区域には、既存集落地や白沢台、福住園高台といった住宅地が立地しているほか、 地域西部において中部工業団地が位置しています。



#### <市街化区域内の土地利用現況(平成 30 年度)>

区 分			凡例	市街化区域	
				面積	割合
	農地	田		1.42 ha	1.1%
÷ 55.44		畑		9.16 ha	7.3%
自然的 土地利用	山林			8.26 ha	6.6%
	水面			1.84 ha	1.5%
	その他の自然地			3.85 ha	3.1%
	住宅用地			56.35 ha	44.8%
	商業用地			5.42 ha	4.3%
都市的	工業用地			0.81 ha	0.6%
土地利用	公的·公益用地			9.10 ha	7.2%
	道路用地• 交通施設用地			21.37 ha	17.0%
	公共空地等			8.08 ha	6.4%
総計				125.66ha	100.0%

※「公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、 その他の空地、低未利用地が含まれる

#### ④都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況

- ・本地域には、名鉄河和線の坂部駅、白沢駅、巽ヶ丘駅ほか、知多半島道路阿久比インターチェンジや阿久比パーキングエリアが位置しています。
- ・本地域では、都市計画道路 4 路線(知多東部線、知多西尾線、名古屋半田線、草木岩滑線)が 計画されていますが、名古屋半田線は東浦町との境が未整備となっています。
- 都市公園は、4 ヵ所 (街区公園) 1.84ha が整備されており、一人あたりの都市公園面積は 1.9 ㎡/人で町平均 (2.3 ㎡/人) より少ない状況となっています。
- 本地域には、阿久比町役場や阿久比中学校、英比小学校、ほくぶ幼稚園、中央公民館、町立図書館などの公共公益施設が立地するほか、阿久比スポーツ村やふれあいの森などのレクリエーション施設が立地しており、町内外の多くの人に利用されています。

#### <都市施設・都市機能の状況図>



#### 5自然環境・地域資源

- ・地域の自然資源として、阿久比川や福山川があり、河川に沿って田園風景が広がっています。
- ・東部にはハッチョウトンボなどの貴重な生き物や植物が生息する板山高根湿地があり、ボランティアによる環境保全活動が行われています。

#### 6防災

- 白沢地区、高根台地区、坂部地区の3地区の一部が準防火地域に指定されています。
- •「洪水ハザードマップ」において、阿久比川・十ヶ川流域周辺が浸水想定区域に、「ため池ハザードマップ」において、下ノ池、馬越池、下南池、籐仙坊池・上籐仙坊池(東浦町)などの下流域が被害想定区域に指定されています。
- ・地域防災計画において、阿久比中学校、英比小学校、ふれあいの森などが避難所に指定されているほか、阿久比スポーツ村や白沢グランドなどが避難場所に指定されています。

#### (2)英比地域の課題

#### 【人口動向】

●他地域と比較し、最も高齢化が進行している地域であることから、高根台や福住園高台周辺 などの高齢化がみられる住宅団地などにおいて、対策が求められます。

#### 【土地利用動向】

- ●市街化区域内における既存住宅地の良好な住環境や市街化調整区域内における既存集落地 の生活環境の維持・保全が求められます。
- ●都市計画道路知多東部線沿線の商業環境や、中部工業団地の維持・保全が求められます。
- ≪都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況≫
- ●広域的な交通拠点である名鉄河和線巽ヶ丘駅や阿久比インターチェンジ周辺の機能強化が 求められます。
- ●都市計画道路の未整備区間の早期整備や地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公 共公益施設の適正な維持管理が求められます。
- ●広域なレクリエーション拠点である阿久比スポーツ村、ふれあいの森はレクリエーション以外にも、防災拠点としての機能強化が求められます。

#### 【自然環境·地域資源】

●阿久比川などの河川景観を活かしたまちづくりや板山高根湿地などの特徴的な自然資源の 保全が求められます。

#### 【防災】

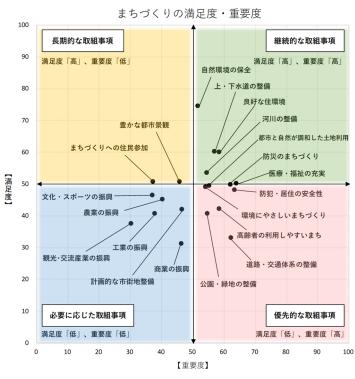
- ●河川やため池周辺において、自然災害による被害を軽減するための防災対策の推進が求められます。
- ●避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持管理が求められます。

#### (3)英比地域の住民意向

英比地域のまちづくりに関する住民意向は以下のとおりです。

#### ①まちづくりの満足度・重要度

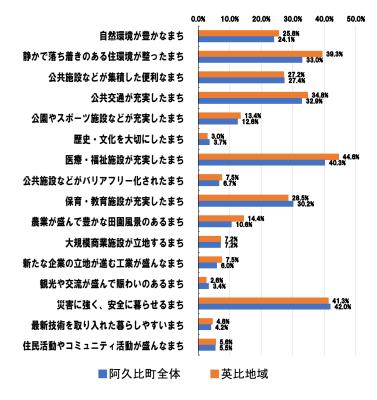
・英比地域の住民のまちづくりに対する満足度・重要度をみると、「道路・交通体系の整備」や「公園・緑地の整備」、「高齢者の利用しやすいまち」などについて、満足度が低いものの重要度が高いことから、道路・交通環境の充実したまちづくりや身近な公園・緑地が充実したまちづくり、高齢者が暮らしやすいまちづくりが求められていると考えられます。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

#### ②まちの将来像

- ・英比地域の住民が望むまちの将来像として、「医療・福祉施設が充実したまち」や「災害に強く、安全に暮らせるまち」が高い割合となっており、医療・福祉施設の立地促進や河川の浸水対策などの取り組みが求められています。
- ・また、町全体と比較すると、「静かで落ち着きのある住環境が整ったまち」を望む声が高く、住宅地の環境改善や質の向上が求められています。



#### (4)英比地域のまちづくり方針

英比地域のまちの現況・課題及び住民意向を踏まえ、まちづくり方針を整理しました。

#### ≪英比地域のまちづくりの基本方針≫

#### ■ 既存の住宅地や集落地において安心して暮らし続けることができる地域づくり

〇高根台などの既存住宅地や住宅団地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるととも に、地域の高齢者などが安心して暮らし続けることができる居住環境の形成を目指します。

# ■ 緑のふれあい・レクリエーション拠点の機能強化により多くの人でにぎわう地域づくり

○広域的なレクリエーション拠点である阿久比スポーツ村やふれあいの森などの公園機能の維持・充実を図り、多くの人が訪れ、にぎわう地域づくりを目指します。

#### ■ 災害に強く、安全な地域づくり

〇阿久比川の防災性の向上を図るとともに、阿久比中学校などの避難所や避難場所の適切な維持保全、機能強化を図り、安全な地域環境の形成を目指します。

#### ≪英比地域のまちづくりの整備方針≫

#### 1)土地利用・市街地整備に関する方針

# 1住居系土地利用

- ・高根台などの住宅団地や既存住宅地においては、良好な居住環境の維持・保全を図ります。
- 白沢地区、福住地区、板山地区などの既設集落地では、周囲の自然環境と調和した居住環境の 保全を図ります。
- 白沢地区及び卯坂地区における暫定用途地域については、居住環境の向上を図るため、地域住 民などの意向を調整のうえ、今後の土地利用のあり方について検討を進めます。
- ・地域の活性化に資する土地利用を図るため、知多半島道路阿久比インターチェンジ周辺や阿久 比町役場周辺などを市街地拡大候補地に位置づけ、実現化に向けた調査・検討を行います。

#### 2商業系土地利用

 都市計画道路知多東部線沿線や都市計画道路知多西尾線、都市計画道路名古屋半田線の沿道や 名鉄河和線の各駅、阿久比町役場周辺では、周辺の営農環境・集落居住環境との調和に配慮し、 利便性の高い生活軸として、沿道型商業・サービス施設の立地などの土地利用の誘導を検討します。

#### 3農業系土地利用

・農地が広く分布する市街化調整区域では、営農環境の保全・整備を図るとともに、無秩序な宅地化を抑制し、優良農地の保全を図ります。

#### 2)道路・交通の整備方針

- 地域東部の生活交通の利便性向上を図るため、新たな南北交通軸となる都市計画道路名古屋半田線の整備を促進するとともに、都市計画道路知多西尾線と都市計画道路矢高横川線を結ぶ町道板山宮津線の整備検討を進めます。
- ・名鉄河和線巽ヶ丘駅周辺において、駅利用者の利便性向上を図るための環境整備について、検討を進めます。

#### 3)公園・緑地の整備方針

- 阿久比スポーツ村は、周辺の緑などを活かしながら、休養、スポーツ、自然とのふれあいなど、 様々な余暇活動を楽しめる運動公園としての機能向上を図ります。
- ふれあいの森や白沢グランドは、広域的なレクリエーション拠点としての機能の維持・充実を 図ります。
- ・既設の公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理を図ります。また、白沢地区など、都市公園の整備が不足する地域において、地域住民のニーズに配慮した身近な公園・緑地の確保を検討します。

#### 4)河川・下水道の整備方針

- 阿久比川の河川敷を活かしたサイクリングロードの整備を促進します。
- 市街化区域内の下水道施設の計画的な維持 更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

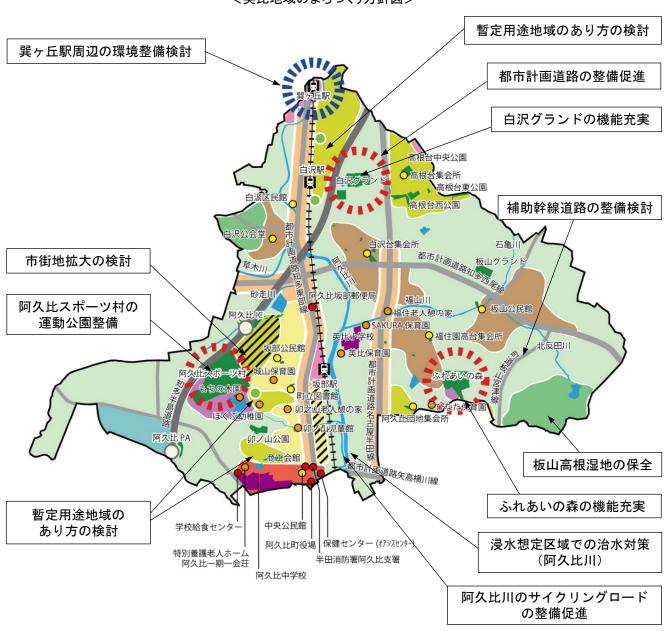
#### 5)自然環境・景観の形成方針

- ・貴重な緑地資源である板山高根湿地について、散策道などの環境整備を行うとともに、ボランティアによる継続的な保全活動を推進します。
- ・ 熊野神社、安楽寺などの社寺林については、地域に根ざした貴重な緑地資源として、地域住民 との協働による保全を検討します。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、自然環境や地域の居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ・ホタルの主要な生息地となっている阿久比川沿いの優良農地は、地域住民との協働のもと継続 的な保全を図ります。

#### 6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- ・阿久比川周辺の洪水予想エリアにおいて、防災対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水・保水機能の維持・確保に向けた総合的な対策を図ります。
- ・馬越池、下南池、下ノ池、藤仙坊池・上藤仙坊池(東浦町)などのため池の被害想定区域において、水害の拡大防止に向けた周知を図ります。
- 準防火地域に指定されている白沢地区、高根台地区、坂部地区の一部においては、建物の防火 性能の向上を誘導します。
- 既存集落地内の狭あい道路の改善や空家などの解消によるオープンスペースの確保を図ります。
- ・災害時において、地震災害警戒本部となる阿久比町役場、緊急輸送基地・集積地点となる阿久 比中学校、防災拠点となる阿久比スポーツ村やふれあいの森において、防災機能の適切な維持・ 強化を図ります。
- 住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

# <英比地域のまちづくり方針図>



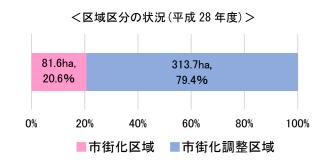


# 8-4 草木地域のまちづくり構想

#### (1)草木地域の現況・特性

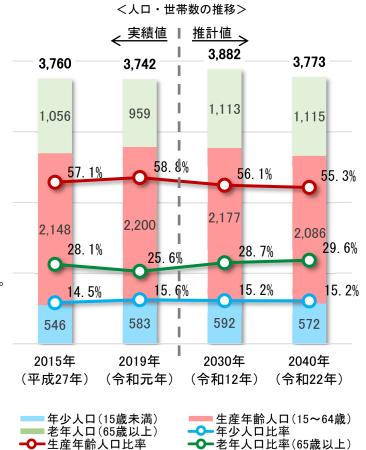
#### ①地域の概況

- ・本地域は、北西部に位置し、知多市、常 滑市に隣接しています。
- 地域の面積は約395haで、そのうち市 街化区域は20.6%(81.6ha)を占め ています。
- 本地域には東西に草木川が流れている ほか、地域の観光資源として花かつみ園 があります。



#### ②人口動向

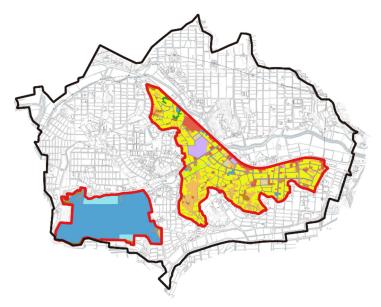
- 本地域の平成27年(2015年)の人口は3,760人となっており、町全体の約14%に該当します。
- 令和 22 年(2040)年までの人口推移 を見ると、今後も人口が減少し続けると 見込まれます。
- ・平成27年(2015年)の年少人口比率は
  率は14.5%、生産年齢人口比率は
  57.1%、高齢化率は28.1%となっており、高齢化が進んだ構成となっています。
  - ※平成27年、令和元年は実績値を採用 ※令和12年、22年は、平成27年度の国勢 調査を基にした推計値を採用(国立社会 保障・人口問題研究所)



#### ③土地利用の状況

- ・本地域では、都市計画道路知多西尾線に沿って住宅市街地が形成されており、草木土地区画整理事業が実施されています。
- ・地域西部の市街化区域内には、草木工業団地があり、工業専用地域に指定されています。地域 東部の市街化調整区域内には、草木東部工業団地が立地しています。
- 本地域の大部分を占める市街化調整区域では、農地が広がっています。

#### <市街化区域内の土地利用現況(平成 30 年度)>



区 分			凡例	市街化区域	
				面積	割合
自然的 土地利用	農地	田		0.31ha	0.4%
		畑		6.88ha	8.4%
	山林			0.72 ha	0.9%
	水面			2.73 ha	3.3%
	その他の自然地			2.07 ha	2.5%
都市的 土地利用	住宅用地			26.23 ha	32.1%
	商業用地			2.83 ha	3.5%
	工業用地			26.26 ha	32.2%
	公的·公益用地			2.23 ha	2.7%
	道路用地• 交通施設用地			8.86 ha	10.9%
	公共空地等			2.47 ha	3.0%
総計			81.59 ha	100.0%	

<sup>※「</sup>公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、その他の空地、低未利用地が含まれる

# ④都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況

- 本地域では、都市計画道路が2路線(知多西尾線、草木岩滑線)整備されています。
- ・都市公園は、土地区画整理事業により4ヵ所(街区公園)0.87haが整備されており、一人あたりの都市公園面積としては2.3 m²/人と、町平均(2.3 m²/人)と同水準となっています。
- ・本地域には、草木小学校、草木公民館、草木保育園、草木老人憩の家の公共公益施設が立地するほか、地域資源として、花かつみ園があります。

<都市施設・都市機能の状況図>

#### 5自然環境・地域資源

- 地域の自然資源として、草木川があり、動植物の良好な生息地となっています。
- 歴史的資源として、町指定文化財を擁する正盛院があります。
- •草木工業団地に隣接して、花かつみ園があり、ボランティアにより保護活動が行われています。

#### 6防災

- •「洪水ハザードマップ」において草木川流域が浸水想定区域に、「ため池ハザードマップ」において、牛作池、平井林池の下流域が被害想定区域に指定されています。
- ・地域防災計画において、草木小学校、草木保育園などが避難所に指定されているほか、草木グランドや中島公園などの街区公園が避難場所に指定されています。

# (2)草木地域の課題

# 【人口動向】

●地域の高齢化が進行しているため、高齢者に対応した生活環境の形成が求められます。

#### 【土地利用動向】

- ●市街化区域内における既存住宅地の良好な住環境や市街化調整区域内における既存集落地 の生活環境の維持・保全が求められます。
- ●草木工業団地や草木東部工業団地などの既存工業団地の環境の維持・保全が求められます。

#### 【都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況】

●地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公共公益施設の適正な維持管理が求められます。

# 【自然環境·地域資源】

●草木川の河川景観を活かしたまちづくりや、花かつみなど特徴ある地域資源・景観の維持・ 保全が求められます。

#### 【防災】

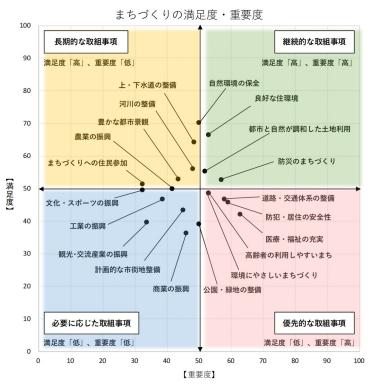
- ●河川やため池周辺において、自然災害による被害を軽減するための防災対策の推進が求められます。
- ●避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持管理が求められます。

#### (3)草木地域の住民意向

草木地域のまちづくりに関する住民意向は以下のとおりです。

#### ①まちづくりの満足度・重要度

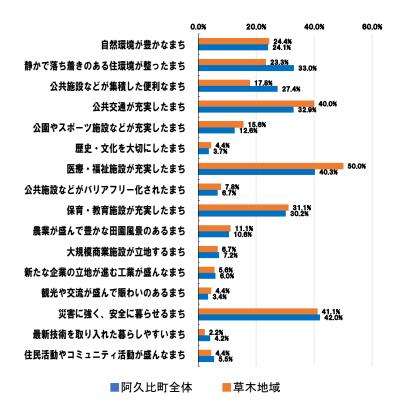
・草木地域の住民のまちづくりに対する満足度・重要度をみると、「医療・福祉の充実」や「防犯・居住の安全性」などについて、満足度が低いものの重要度が高いことから、高齢者にやさしいまちづくりや安全安心に暮らせるまちづくりが求められています。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

#### ②まちの将来像

・草木地域の住民が望むまちの将来 として、「医療・福祉施設が充実し たまち」や「公共交通が充実したま ち」が高い割合となっており、医 療・福祉施設の立地促進や利用し やすい公共交通環境の整備が求め られます。



#### (4)草木地域のまちづくり方針

草木地域のまちの現況・課題及び住民意向を踏まえ、まちづくり方針を整理しました。

#### ≪草木地域のまちづくりの基本方針≫

#### ■ 既存の住宅地や集落地において安心して暮らし続けることができる地域づくり

〇既存の住宅地や集落地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるとともに、地域の高齢者などが安心して暮らし続けることができる居住環境の形成を目指します。

# ■ 美しい緑・田園環境と調和した地域づくり

〇花かつみ園や市街化調整区域に広がる良好な緑・田園環境と調和した地域環境の形成を目指 します。

# ■ 災害に強く、安全な地域づくり

〇草木川の防災性の向上を図るとともに、居住地の防災機能の強化を図り、安全な地域環境の 形成を目指します。

# ≪草木地域のまちづくりの整備方針≫

#### 1)土地利用・市街地整備に関する方針

#### 1住居系土地利用

- ・市街化区域内の土地区画整理事業が行われた住宅地では、良好な居住環境の維持・保全を図ります。
- 市街化区域内の住宅地の一部では、地区計画などのまちづくり手法により居住環境の改善について、検討を進めます。

#### 2工業系土地利用

・草木工業団地及び草木東部工業団地は、周辺の営農環境・集落居住環境との調和に配慮した工業団地の環境の維持・保全を図ります。

#### 3農業系土地利用

・地域の北部や西部の市街化調整区域に広がる優良農地は、無秩序な宅地化を抑制し、保全を図ります。

#### 2)道路・交通の整備方針

- 都市計画道路知多西尾線に接続する県道草木金沢線などの主要道路については、阿久比インターチェンジと知多市を結ぶ交通動線などにも留意しながら、必要に応じて拡幅などの整備を促進します。
- ・町内の各地区・拠点を結ぶ循環バスの維持・継続を図り、地域住民の生活利便性の維持・確保 を図ります。

#### 3)公園・緑地の整備方針

- ・既設の公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理 を図ります。
- 花かつみ園については、ボランティアによる維持・管理や交流活動を推進します。

#### 4)河川・下水道の整備方針

- ・地域を東西に流れる草木川などの中小河川の整備は、近年の豪雨災害を踏まえ、整備計画など に基づき、必要な対策を図ります。
- ・草木川については、ボランティアによる草刈りや堤防道路などの維持・管理、魚つかみなどの 交流活動を推進します。
- ・市街化区域内の下水道施設の計画的な維持・更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

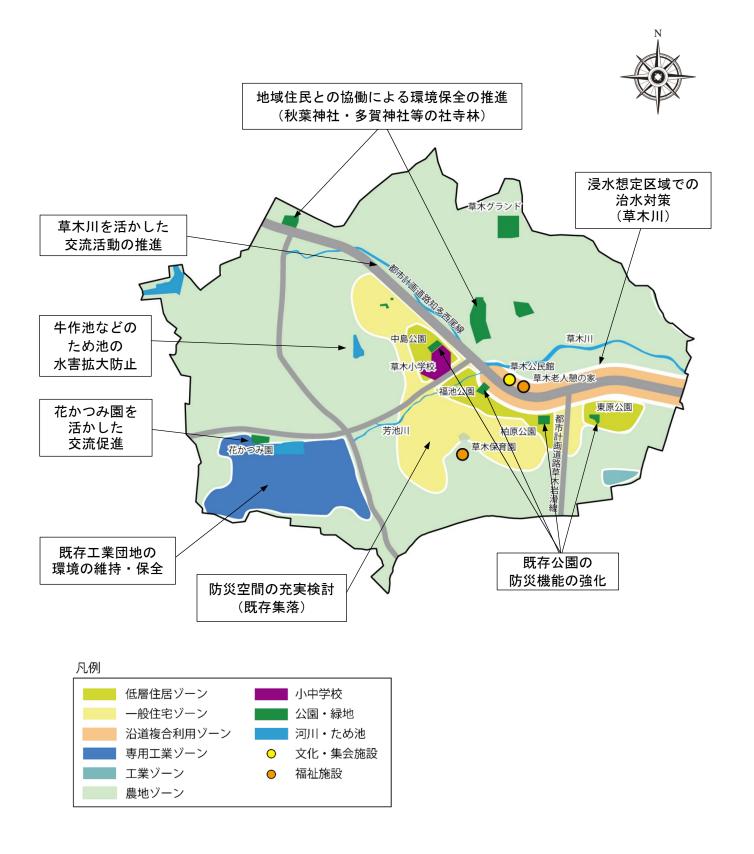
#### 5)自然環境・景観の形成方針

- 秋葉神社及び多賀神社の社寺林については、良好な植物群落として、地域住民との協働による環境保全を図ります。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、自然環境や地域 の居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ホタルの主要な生息地となっている草木川沿いの優良農地は、地域住民との協働のもと継続的な保全を図ります。

#### 6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- 草木川周辺の浸水想定区域において、防災対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水 保水機能の維持 確保に向けた総合的な対策を図ります。
- 牛作池などのため池の被害想定区域において、水害の拡大防止に向けた周知を図ります。
- ・既存集落地内の狭あい道路の改善や空家などの解消によるオープンスペースの確保に努めるとともに、避難場所となる公園の防災機能の強化を図ります。
- 住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

#### <草木地域のまちづくり方針図>

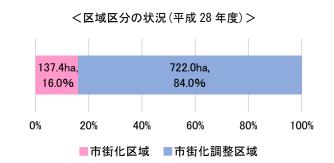


# 8-5 南部地域のまちづくり構想

#### (1)南部地域の現況・特性

#### ①地域の概況

- ・本地域は、南西部に位置し、常滑市、半 田市に隣接しています。
- 地域の面積は約859haで、そのうち市 街化区域は16.0%(137.4ha)を占め ています。
- 本地域には、広域的な交通拠点として、 名鉄河和線阿久比駅が位置するほか、地域の観光資源として権現山や矢勝川の ヒガンバナがあります。



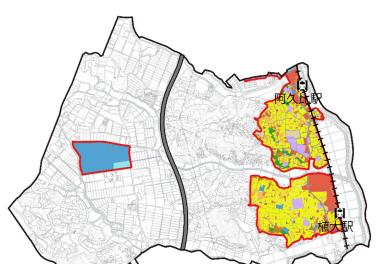
#### ②人口動向

- 本地域の平成27年(2015年)の人口は6,661人となっており、町全体の約24%に該当します。
- 令和 22 年(2040年)までの人口推 移を見ると、今後は人口が減少すると見 込まれます。
- ・平成27年(2015年)の年少人口比率は14.8%、生産年齢人口比率は61.8%、高齢化率は23.1%となっており、町内で最も生産年齢人口比率が高い構成となっています。
  - ※平成27年、令和元年は実績値を採用※令和12年、22年は、平成27年度の国勢調査を基にした推計値を採用(国立社会保障・人口問題研究所)



# ③土地利用の状況

- ・本地域では、阿久比駅前土地区画整理事業が実施され、名鉄河和線や都市計画道路知多東部線 に沿って市街地が形成されています。
- 市街化区域内には、住宅地のほか、大規模商業施設も立地しており、住宅用地は約 40%、商業施設が約 10%を占めています。地域西部には南部工業団地が立地しています。
- 植大地区では、住工の用途が混在した土地利用がみられます。
- 本地域の大部分を占める市街化調整区域では、農地が広がっています。
- •阿久比•矢高地区では、都市計画道路の整備状況により産業系市街地の開発を検討しています。



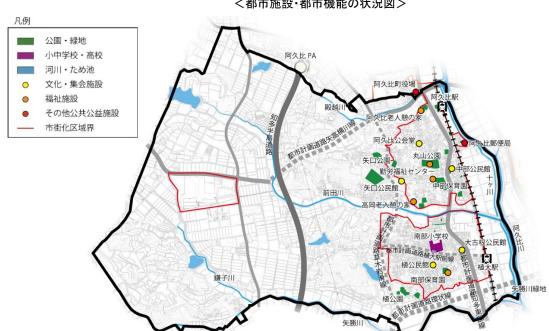
#### <市街化区域内の土地利用現況(平成 30 年度)>

区 分			凡例	市街化区域	
				面積	割合
自然的土地利用	農地	田		0.10ha	0.1%
		畑		10.20 ha	7.4%
	山林			3.07 ha	2. 2%
	水面			2.07 ha	1. 5%
	その他の自然地			3.76 ha	2. 7%
	住宅用地			52.84 ha	38. 5%
都市的 土地利用	商業用地			13.85 ha	10. 1%
	工業用地			20.13 ha	14. 7%
	公的·公益用地			6.71 ha	4. 9%
	道路用地• 交通施設用地			18.51 ha	13. 5%
	公共空地等			6.16 ha	4. 5%
総計			137.40 ha	100.0%	

※「公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、その 他の空地、低未利用地が含まれる

# ④都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況

- 本地域には、名鉄河和線の阿久比駅、植大駅が位置しています。
- ・地域北部の阿久比パーキングエリア周辺では、上りパーキングエリアの新設と合わせた新たな 土地利用が計画されています。
- 本地域では、都市計画道路が5路線(知多東部線、環状線、矢高横川線、植大駅前線、草木岩 滑線)が計画されており、そのほとんどが未整備となっています。
- 都市公園は、近隣公園を含めて3 ヵ所1.93ha が整備されており、一人あたりの都市公園面 積は29㎡/人で、町平均(23㎡/人)よりも高い水準となっています。
- ・本地域には、県立阿久比高等学校、南部小学校、阿久比公会堂、勤労福祉センターのほか、公 民館、保育園、老人憩の家などの公共公益施設が立地しています。



<都市施設・都市機能の状況図>

#### 5自然環境・地域資源

- ・阿久比川などの河川周辺や地域西部には優良な田園風景が広がっているほか、地域南部には、 権現山などの森林がまとまって分布しています。
- 歴史的資源として、国登録有形文化財を擁する蓮慶寺があるほか、町指定有形民俗文化財である山車が大古根地区にあり、山車の曳き回しなどが行われています。
- 矢勝川左岸堤防に広がる彼岸花は観光資源であり、秋祭りには多くの観光客が訪れています。

#### 6防災

- ・阿久比地区、椋岡地区、植大地区の3地区の一部を準防火地域に指定しています。
- •「洪水ハザードマップ」において、阿久比川、前田川、矢勝川流域が浸水想定区域に指定されています。
- 矢高地区の丘陵地には、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区に指定されています。
- ・地域防災計画において、南部小学校、勤労福祉センターなどが避難所に指定されているほか、 丸山公園などが避難場所に指定されています。

#### (2)南部地域の課題

#### 【人口動向】

●他地区に比べ、生産年齢人口比率が高い割合を占めることから、今後も将来にわたり、子育 て世代をはじめとする若い世代が暮らしやすい、暮らし続けることができる環境づくりが求 められます。

#### 【土地利用動向】

- ●既存住宅地の良好な住環境や、既存集落地の生活環境の維持・保全が求められます。
- ●都市計画道路知多東部線沿線の商業環境の維持・保全が求められます。
- ●阿久比・矢高地区において、都市計画道路の整備状況により産業系市街地の開発促進が求められます。

#### 【都市施設の整備状況/公共公益施設の立地状況】

- ●都市計画道路の未整備区間の早期整備や地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公 共公益施設の適正な維持管理が求められます。
- ●名鉄河和線阿久比駅周辺や阿久比パーキングエリア周辺などにおいて、交通機能や商業・業務機能の強化・充実が求められます。

# 【自然環境·地域資源】

- ●阿久比川の河川景観を活かしたまちづくりや、箭比神社など、地域の特色ある歴史・文化の保全・継承が求められます。
- ●権現山や矢勝川などの地域資源を活かした観光の魅力づくりが求められます。

#### 【防災】

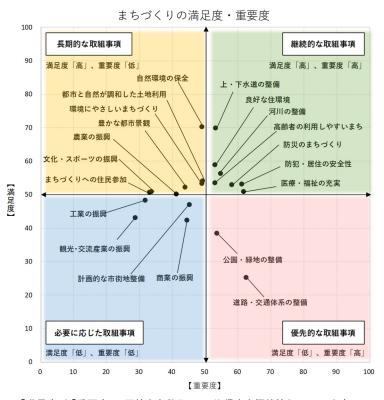
- ●阿久比川などの河川周辺や矢高地区の丘陵地において、自然災害による被害を軽減するため の防災対策の推進が求められます。
- ●避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持管理が求められます。

#### (3)南部地域の住民意向

南部地域のまちづくりに関する住民意向は以下のとおりです。

#### ①まちづくりの満足度・重要度

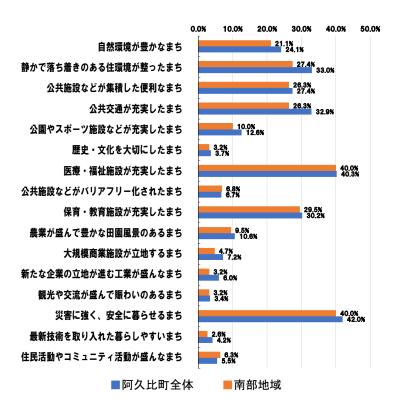
・南部地域の住民のまちづくりに対する満足度・重要度をみると、特に「道路・交通体系の整備」や「公園・緑地の整備」について、満足度が低いものの重要度が高いことから、道路・交通環境の充実したまちづくりや身近な公園・緑地が充実したまちづくりが求められていると考えられます。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

#### ②まちの将来像

・南部地域の住民が望むまちの将来像として、「医療・福祉施設が充実したまち」や「災害に強く、安全に暮らせるまち」が高い割合となっており、医療・福祉施設の立地促進や河川の浸水対策、丘陵地の急傾斜地崩壊対策などの取り組みが求められます。



#### (4)南部地域のまちづくり方針

南部地域のまちの現況・課題及び住民意向を踏まえ、まちづくり方針を整理しました。

#### ≪南部地域のまちづくりの基本方針≫

#### ■ 既存の住宅地や集落地において安心して暮らし続けることができる地域づくり

○名鉄河和線阿久比駅前や植大駅前をはじめとする市街化区域内の既存住宅地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるとともに、地域住民や来訪者が快適に利用できる生活環境の形成を目指します。

#### ■ 既存の地域資源の活用や新たな産業拠点の創出による活力ある地域づくり

〇権現山や矢勝川など既存の観光資源の魅力向上に取り組むとともに、阿久比パーキングエリア周辺への新たな交流拠点の形成や阿久比・矢高地区への工業用地の整備促進を図り、多くの人が交流する活力ある地域環境の形成を目指します。

#### ■ 災害に強く、安全な地域づくり

〇阿久比川・前田川や丘陵地の急斜面に近接する集落地の防災性の向上を図り、安全な地域環境の形成を目指します。

#### ≪南部地域のまちづくりの整備方針≫

#### 1)土地利用・市街地整備に関する方針

#### 1住居系土地利用

- ・名鉄河和線阿久比駅周辺では、公共交通の利用者や地域住民の生活を支える商業・業務などの 生活サービス機能の維持・集積に努めるとともに、中高層住宅などを含めて、土地の高度利用 や有効利用を検討します。
- 矢口地区、高岡地区などの既設集落地では、居住環境の維持・保全を図ります。
- ・名鉄河和線植大駅周辺では、駅前の交通環境の整備・改善を図るとともに、便利で暮らしやすい生活環境の形成を図ります。
- ・地域住民の生活利便性を考慮した土地利用を図るため、都市計画道路環状線と都市計画道路知 多東部線の交差点周辺を市街地拡大候補地に位置づけ、実現化に向けた調査・検討を行います。

#### 2商業系土地利用

・地域住民の生活利便性を考慮した土地利用を図るため、都市計画道路知多東部線及び環状線沿道を市街地拡大候補地に位置付け、実現化に向けた調査・検討を進めます。

#### ③工業系土地利用

- ・南部工業団地は、周辺の営農環境・田園風景と調和した工業用地として環境の維持・保全を図ります。
- 阿久比 矢高地区では、都市計画道路矢高横川線沿道を中心に市街地拡大候補地を位置づけ、 新たな産業機能の導入を目指し、都市計画道路の整備状況に合わせた工業用地の整備検討を進 めます。
- 植大地区の既存集落地では、土地利用転換の状況を踏まえ、工業系用途から住居系用途への用途地域の見直しについて、検討を進めます。

#### 4 農業系土地利用

・農地が広く分布する市街化調整区域では、土地改良事業などにより営農環境の保全・整備を図るとともに、無秩序な宅地化を抑制し、優良農地の保全を図ります。

#### 2)道路・交通の整備方針

- 都市計画道路(環状線、矢高横川線など)の早期整備の実現に向けた検討を進めます。
- 名鉄河和線阿久比駅を中心とした道路 交通ネットワークの強化を図ります。

#### 3)公園・緑地の整備方針

- ・既設の公園について、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理を 図ります。また、都市公園の整備が不足する地域において、地域住民のニーズに配慮した身近 な公園・緑地の確保を検討します。
- ・阿久比パーキングエリア周辺において、広域的な緑のふれあい交流拠点(総合公園)の整備を 検討します。

#### 4)河川・下水道の整備方針

- 阿久比川や矢勝川の河川敷を活かしたサイクリングロードの整備を促進します。
- 前田川などの中小河川の河川改修を促進します。また、市街化調整区域に広がる農地における 農作物のたん水被害防止を未然に防ぐため、たん水防除事業を促進します。
- ・市街化区域内の下水道施設の計画的な維持・更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

#### 5)自然環境・景観の形成方針

- 箭比神社、五郷社などの社寺林は、市街地近郊の貴重な緑地資源であることから、地域住民との協働による保全を検討します。
- 権現山一帯では、西狐谷池や矢勝川などが舞台となったといわれる童話「ごんぎつね」をモチーフとした環境整備など、観光 交流の促進に向けた取り組みを地域住民とともに検討します。
- ・矢勝川では、地域が主体となった環境美化活動を促進しつつ、観光資源としての環境の維持・ 保全を図ります。
- 再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、自然環境や地域の居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ・ ホタルの主要な生息地となっている阿久比川、前田川及び矢勝川沿いの優良農地は、地域住民 との協働のもと継続的な保全を図ります。

#### 6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- 阿久比川や十ヶ川などの改修を促進するとともに、洪水ハザードマップに基づく浸水想定区域において、植大排水機場の新設、高潮対策として十ヶ川遊水地の整備など、防災対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水・保水機能の維持・確保に向けた総合的な対策を図ります。
- 矢高地区をはじめとする既存集落地は、急傾斜地に近接していることから、危険度に応じて急傾斜地崩壊対策事業を促進します。
- 浸水想定区域などの災害リスクについては、ハザードマップなどを通じて、広く住民に周知・ 啓発します。大規模地震などで被害を受けやすい、大規模盛土造成地については個別計画によ り、さらにスクリーニングし、宅地防災対策を検討します。
- ・既存集落地内の狭あい道路の改善による安全な避難路の確保や空家などの解消によるオープンスペースの確保に努めるとともに、避難場所となる公園の防災機能の強化を図ります。
- 準防火地域に指定されている阿久比地区、椋岡地区、植大地区の3地区の一部においては、建物の防火性能の向上を誘導します。
- 住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

#### <南部地域のまちづくり方針図>

